

12. 階段を転げ降り、外へ出ても一人という不安

Y. S. 60歳 主婦 あきる野市二宮在住

- どこに誰といましたか。

木造2階建の自宅2階におり、あまり経験したことがない大きな揺れにびっくりしました。築45年の古い木造住宅の上、当時は平屋だったものに2階を載せましたから揺れも大きかったようです。

自宅には1人であり、外出の予定を午前中に変更したため、地震の起こる1時間ほど前に帰宅しました。普段、地震にはあまり動じない方でしたが、今回は異常な揺れに、まず家が崩壊するかもしれないと思い階下へ。階段を降りるとき、壁に身体をぶつけたりしました。これまで、地震で外へ出ることはなかったのですが、あまりの怖さに外へ飛び出しました。電柱は揺れ、植木も折れてしまいそうなくらい。家を見れば、大きな揺れをしていました。が、車は停まることもなく、近隣の人が外にでているのも見ず、どちらが安全なのかと思いました。

- 身内は？その夜は？

主人は勤務中です。地震発生後、メールにて連絡を入れましたが、返信は3時間後でした。主人の帰宅は翌日のお昼ごろ。停電にならなかったのが幸いで、その晩は懐中電灯と携帯を枕もとにおき、服のまま布団の中へ。

当日予定通りに外出していたら、多分徒歩で帰宅したと思います。2時間あれば歩いて帰れる距離でしたから。

- 最後にひとこと。

自宅付近は地盤がしっかりしていると聞いていましたので、安心して地震対策をまったくしていませんでした。今回の地震であらためて回りを見まわし、まず家の周りの不要な物の始末(瓦礫の元)、家の中の転倒しそうな物のチェック、保存食や備品の用意、時間が経つと忘れがちなことを書き出しました。今回の地震による家中の物の転倒は、大きな揺れの割にはガラス細工の小さな置物が倒れていたくらいです。

2011年6月26日